

Gran Maestro M.NAKAGAWA 記念

20th
Italia イタリア
Concorso
コンコルソ

MusicArte
クラシック全部門

Italia Concorso MusicArte

～音楽コンクール～
イタリア世界遺産提携 国際育英事業

ムジカアルテ

国際力を高め、学び飛翔く！

音楽コンクール参加者募集

■第20回 2025年9月～【予選エントリー期間】

【本選】

- 浦安 2026年1月18日(日) J:COM浦安音楽ホール<ハーモニーホール>
- 名古屋 2026年1月12日(月) メニコンHITOMIホール
- 大阪 2026年1月24日(土) NHK 大阪歴史博物館【講堂】
- 徳島 2026年2月 8日(日) 北島町立図書館・創世ホール



ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE
一般社団法人日本イタリア協会
〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上野51
TEL 075-466-5505 FAX 075-466-5510
MAIL : info@nipponitalia.com



▶ お申込みはこちら

20th
イタリア
コンcorso

イタリア世界遺産提携
国際育英事業

Italia Concorso MusicArte

クラシック
音楽コンクール

ムジカアルテ

国際力を高め、学び飛翔く!

ピアノ・声楽・弦楽・管楽・邦楽。
遠い憧れの世界に飛び込めるグランドチャンス!!
イタリア世界遺産、重要文化財、各市庁、国立音楽院等と
提携して、国内外での演奏と就学の機会が与えられます。

音楽の才能を育て、未来に導く音楽コンクール

参加者募集

Stella ステラ(スター)部門

-世界に飛翔くアーティストを目指して!
国際水準(世界レベル)の芸術技術・音楽観・教養・経験を!

プロフェッショナルやトッププレイヤーを目指す方の「夢」を現実
につなげる「ゴールドチャンス!」稀少な経験と教示を生かして国際力
を高め「芸術力」「人間力」の向上を!!
上位受賞者はスター・プレイヤーとして、世界的な舞台へ飛翔く
数々のチャンスが与えられます。

Cultura クルトウーラ(教養)部門

-マイペースで音楽を学びながら、大きなインスピレーションと飛躍を!

音楽を探求して芸術観、視野教養を深めたい方! 支援します!
趣味マイペースで音楽を研鑽されている方の国際力を高め、芸術力・人間力
向上を目指します。「力試し」「モチベーションアップ」の貴重な機会が
与えられます。日頃の努力の技をのびのびと発揮してください。

応募方法

WEB



郵送



ムジカアルテ

検索

【予選 応募締切】 ・規定書の応募概要をご覧ください。

予選

応募~審査結果 → 随時案内

1~2曲(プログラミング自由)を「DVD録画」または、
「YouTube映像」にて審査

- ①WEB応募=HP内申込フォームより応募(YouTube動画アップロード)
 - ②郵送応募=収録USBメディアを申込用紙、参加料、返信封筒と一緒に郵送
- ※曲目自由・時間制限なし

本選

※AかBのどちらかを選べます

A)会場審査(関東・名古屋・大阪)

B)オンライン(ライブ)審査

+ YouTube映像(提出要)

※詳しくはWEB規定書をご覧ください。

ムジカアルテ

検索



テアトロオリンピコ 世界最古の劇場【イタリア】
(屋内)イタリア世界遺産



【Italia】

高台寺音楽祭(京都)



【Italia】

【Italia】



高台寺 利生堂【京都】



【Italia】



【Italia】

【Italia】



Teatro Olimpico <世界最古屋内劇場>

西洋建築のメッカVicenzaに現存する世界一美しいと
称される世界遺産テアトロ・オリンピコ

世界
遺産



【東京】

ミラノ国立音楽院総裁
フランチェスコ・ボレッリ氏
※当時▶

【東京】

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE

(社)日本イタリア協会

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町 51

TEL 075-466-5505 FAX 075-466-5510

Mail info@nipponitalia.com HP nipponitalia.com

日本イタリア協会

検索



▲公式サイト



▲ムジカアルテ公式サイト

出雲大社白伊親善特別記念演奏会
中央は、イタリア領事、出雲市長、
中川くにこ理事長



Italia Concorso Musica Arte

主催 (社) 日本イタリア協会

グラン・マエストロ Makizo NAKAGAWA 記念

2025年-2026年

【規定書】

グラン・マエストロ 中川牧三記念 「イタリアコンcorso Musica Arte・ムジカアルテ」

| 音楽コンクール / 国際育英事業 | イタリア世界遺産・国立音楽院・イタリア各市 提携

音楽の才能を育て、未来に導くコンクール
第20回 イタリア コンcorso ムジカアルテ



世界最古の屋内劇場 「テアトロ・オリンピコ」

国際力を高め、学び飛翔く！

基本を極め、技巧を磨き、
輝く響きと鮮明なライン、
深い思いやりと人間力、国際力を高めて
心を打つ、人を感動させる、
優しい感性が香を放つ、
そんな表現のできる芸術家を目指していただきたいと希っています。

日本のクラシック音楽界の草分けとして
礎を築いた音楽家



Gran Maestro Makizo Nakagawa
MO. 中川 牧三

日本イタリア協会創始者初代会長 MO. 中川牧三は、わが国の音楽芸術の発展を願って数々の功績を残しました。

コンcorso「Musica Arte」(全部門)は本格的な経験を積むことによって、国際的感覚を磨いていただき大きく成長していただくことを希っています。芸術家には年齢はなく、幾つであっても目標に向けて邁進していただけますよう【参加資格を4歳～年齢制限なし】上限をなくしました。

マエストロ・ナカガワが「105年の人生をかけて築いた国際的なキャリア」によって培われた、貴重な人脈遺産は、大きなうねりとともにわが国のアーティストの為に動いています。

コンcorso「Musica Arte」の入賞者は、それらの恩恵に浴し、歴史と芸術の宝庫イタリアをはじめヨーロッパと日本国内の世界文化遺産・重要文化財等に於いて、レベルの高い音楽の芸術性を感得できる特別なチャンスが得られます。

後援
協力

イタリア大使館／イタリア文化会館／ヴィチエンツァ市／フィレンツェ市／
ヴィチエンツァ国立音楽院／フィレンツェ国立音楽院／
ヴェネツィア国立音楽院／バドヴァ国立音楽院／ミラノ国立音楽院

日本イタリア協会
HP



コンcorso
musicarte.jp
<コンクール申込>



Stella

ステッラ(スター)部門



Cultura

カルトゥーラ(教養)部門



■ クラス・カテゴリ

- プロフェッショナルの部
- 一般の部
- 大学生の部 (短・大・院・専)
- 高校生の部
- 中学生の部
- 小学生の部
- 幼児<未就学>の部

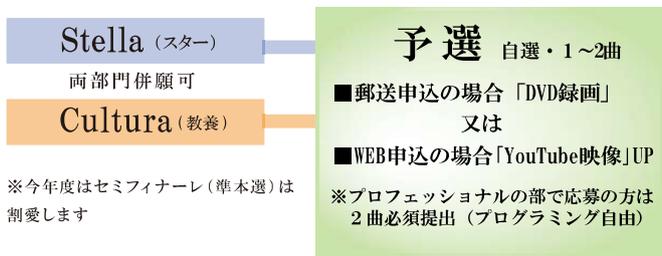
■ 専門

- ピアノ ● 声楽 ● 弦楽器 ● 管楽器
- 打楽器 (マリンバなど) ● デュオ ● 室内楽
- 邦楽 (箏・尺八など)

※室内楽・アンサンブル・合唱・合奏など、構成は自由



■ 応募概要



本選 | グラン フィナーレ | 表彰

審査方法はA・Bより選択

A) 会場審査 各会場にて実技審査

- 関東 2026年 1月18日 (日) J:COM浦安音楽ホール(ハーモニーホール)
- 関西 2026年 1月24日 (土) NHK大阪歴史博物館【講堂】
- 名古屋 2026年 1月12日 (月) メニコン旧TOMIホール
- 徳島 2026年 2月 8日 (日) 北島町立図書館・創世ホール

B) 動画 + オンライン審査

3か月以内収録動画+オンラインライブ審査 日時は個別決定

※曲目自由 (予選と同曲可)

決戦<全国>
2026年9月21日 (月)
J:COM浦安音楽ホール
<ハーモニーホール>

グラン・プレミオ
受賞者による
オールスターガラ
華麗なる競演

申込の流れ・部門

Stella
~ステッラ(スター)部門

Cultura
~カルトゥーラ(教養)部門

プロとして活動されている方、「トッププレイヤー」を目指しておられる方へ、海外活動を視野に入れて本格的に取り組みたい方、「力だめし」または、夢を現実につなげる「チャンス」として日頃の努力研鑽の技をのびのびと発揮してください。

上位受賞者はスター・プレイヤーとして、海外デビューのスカウトや国立音楽院への留学のチャンス、「国際芸術フェスティバル」など世界的な舞台へ飛翔ける数々のチャンスが得られます。

音楽を探求して教養や視野を深めたい方、趣味・マイペースで音楽を楽しみながら研鑽されている方、国際力を高め、芸術力・人間力向上をめざしたい方、「力試し」、または、モチベーションUPのベストチャンスとして是非生かしてください。

上位受賞者は国内外の世界的な舞台での演奏経験などのチャンスが得られます。

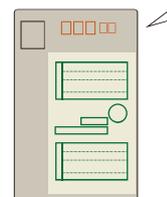
郵送の場合 ①~④を確認

- ①~④を全同封して、「現金書留」にて郵送
- ① 収録動画メディア (DVD又はUSBのみ)
- ② 申込書
- ③ 予選参加料
- ④ 本人写真 (上半身撮影・本人確認ができるもの)

※申込受理後の連絡はご登録のEmailでの対応となります。

【送付先】

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51
(一社) 日本イタリア協会 コンコルソ事務局宛



送付用封筒イメージ
現金封筒大型

DVD 又は USB

動画メディアには
部門(ステッラ又はカルトゥーラ)
氏名・カテゴリ・専門科目を記載

氏名 応募者住所
110

返信用封筒 ×2

予選参加料 12000円

申込書 応募書類

写真 裏面に氏名

WEBの場合

【予選 応募締切】

・規定書の応募概要をご覧ください。

WEB



※詳しくはWEB規定書をご覧ください。

ムジカルテ

検索



選考の流れ・部門

■コンクール参加区分一覧

区分名	対象年齢・属性	備考・補足
未就学児の部（幼児の部）	就学前の幼児（3歳～6歳）	保護者同伴・演奏補助の可否など、年齢に応じた配慮
小学1年生の部		
小学2年生の部		
小学3年生の部		
小学4年生の部		
小学5年生の部		
小学6年生の部		
中学生の部	中学1年生～3年生	
高校生の部	高校1年生～3年生	
学生の部	大学生・大学院生・短大生・専門学生	音楽系・非音楽系を問わず
社会人の部（旧：一般の部）	学校教育を終えた成人（職業の有無を問わず）	主婦・フリーランス・定年退職者も含む
プロフェッショナルの部	音楽を職業とする方、または同等の演奏歴・活動実績を有する方	教職・演奏家・指導者など。

■参加料

区分	参加料	備考
【予選】	12,000円	歴代グランプリオ受賞者は参加料6,500円
【本選】	16,500円	
【本選】 オンラインLIVE	21,000円	本選参加料16,500円+オンライン手数料4,500円
【本選】 プロフェッショナルの部	25,500円	プロフェッショナル部門（全カテゴリー）および声楽部門は、オンライン審査不可/会場審査のみとなります。

■エントリー締切

区分	本選（演奏会形式）開催日	会場名	予選締切日
関東	2026年1月18日（日）	J:COM 浦安音楽ホール〈ハーモニーホール〉	2025年12月31日（水）
関西	2026年1月24日（土）	NHK 大阪史博物館〈講堂〉	2026年1月10日（土）
名古屋	2026年1月12日（祝）	メニコン HITOMI ホール	2025年12月31日（水）
徳島	2026年2月8日（日）	北島町立図書館・創世ホール	2026年1月13日（火）
オンライン本選	2026年1月27日～2月7日（個別調整可）	ライブ審査形式 （※声楽部門不可/プロフェッショナル部不可）	2026年1月14日（水）

■振込先

郵便局	記号 14130	番号 77355351
ゆうちょ銀行	店番 418	番号 7735535
振込先名	シャ) ニホンイタリアキョウカイ	

プロフェッショナルの部 応募資格

本部は、音楽を専門とし、演奏または指導を生業とされる方々を対象といたします。以下のいずれかに該当する方にご参加いただけます：

- 音楽を職業としている方（演奏家・指導者・教職者等）
- 音楽大学・専門機関を修了し、演奏活動歴または指導歴が概ね5年以上ある方
- 国内外の主要コンクールにて入賞歴を有する方
- その他、同等の演奏実績・専門的活動を有する方（※事前審査あり）

※事前審査に際し、以下のいずれかをご提出いただく場合がございます：

動画資料／活動記録／受賞履歴／略歴／推薦状等

ご不明な点がございましたら、略歴等をご提出の上、審査委員会にて個別に判断させていただきます。

オンライン審査を受ける方への注意事項（Zoom 利用）

・PCで参加してください

スマートフォンやタブレットでは「高忠実音楽モード」が利用できません。

楽器の音が雑音として認識されてしまうため、正しく聞き取ることが出来ず、審査にはご使用いただけません。必ずPCからご参加ください。

・安定したインターネット回線を使用

有線LANを推奨します。Wi-Fiの場合は、ルーターの近くでご利用ください。

・マイク・イヤホン（ヘッドフォン）の利用

PC内蔵マイクではなく、外部マイクやオーディオインターフェイスを使用すると、演奏の細かなニュアンスが正確に伝わります。

イヤホンやヘッドフォンも必ず使用し、ハウリングや音の回り込みを防止してください。

・静かな環境で参加：周囲の雑音や生活音が入らない静かな場所を選んでください。

・音声の不具合について

演奏が途切れる・高忠実音楽モードで楽器の音が雑音として認識されてしまい、聞き取ることが出来ない場合があります。その際の責任は演奏者ご自身にあることをご理解ください。

・配信スキルの前提

Zoomを用いて安定して音楽を配信できる環境とスキルを整えていただくこと、またはサポートできる協力者がいることを前提としています。

芸術音楽監督



M_uルカ・ガリレオ (Vn)※審査委員長 世界的ヴァイオリニスト
 M_o アルベルト・クビード (Vo)※世界的テノール
 M_o カルミネ・カッリージ (P)※ポーロニヤ国立音楽院元学長
 M_o ルチアーノ・アルベルティ※シエナ国立音楽院元学長
 故M_o フランチェスコ・ボッレリ (P)※ミラノ国立音楽院元総裁
 故M_u マルチェッラ・レアレ (P)※新国立劇場最高コーディネーター
 M_o マーク・ゴトーニ (Vn) ベルリン芸術大学ヴァイオリン科主任教授
 故M_u マルチェロ・アッパード (P)※ミラノ国立音楽院学長
 M_u カティア・ローバ (Mez.)※国際声楽コン審査委員長
 M_o OLIVERO トロンコン (P) ヴェネト州国立音楽院総裁



故M_o 岩淵 龍太郎 (Vn)※故M_o 服部克久 (P)※作曲家 京都芸術大学名誉教授(当時) 京都コンサートホール副館長
 M_o 澤 和樹 (Vn) 東京藝術大学学長
 M_o 児玉 實英 (P)※元同志社女子大学学長
 M_o 中川くに子 (Vo)※日本イタリア協会理事
 M_u 黒田安紀子 (Vo)※コンコロソ評議員
 M_u 水谷川優子 (Vo)※コンコロソ評議員
 M_u 丸山恵美子 (Vo)※コンコロソ評議員
 M_u 伊藤晶子 (Vo)※コンコロソ評議員
 M_o 佐々木 真 (F)※全日本フルート協会会長

- アントニオ・マルティーニ … ヴァイオリニスト
- エンリーコ・バルボニ … ヴァイオリニスト
- マリオ・ポーバ ※ … イタリア外務省・元EU大使・元駐日大使
- ティーナ・ヴィーガーノ ※ … 伊ノレナータ・テバルティ財団名誉会長
- 故マグダ・オリヴェーロ ※ … 世界的ソプラノ歌手
- 天野 晴美 … 声楽家 大阪音楽大学元教授・日本イタリア協会評議員
- 故岡田 晴美 … 声楽家・神戸女子大学名誉教授・日本イタリア協会評議員
コンコロソ特別運営委員
- 門屋 菊子 … 声楽家・相愛大学名誉教授・日本イタリア協会評議員
コンコロソ特別運営委員
- 故山口 淑子 … 声楽家・俳優・元参院議員

■主な審査員(歴代含) 五十音順・敬称略 (職責等変更されている場合があります)

- 石崎 俊子 … ヴァイオリニスト
- 伊藤 真理 … ピアニスト
- 岩野 めぐみ … ピアニスト
- 岩澤 麻子 … ヴァイオリニスト
- 今城 淳行 … 音楽家・同志社女子大学名誉教授
- 大林 敦子 … 音楽家・相愛大学・同志社女子大学講師
- 扇谷 勉 … 評論家・NHK音楽プロデューサー
- 釜洞 祐子 … 声楽家・東京音楽大学教授
- 川上 洋司 … 声楽家・東京芸術大学教授
- 釜洞 祐子 … 声楽家・東京音楽大学教授
- 牛王 えり子 … 日本弦楽指導者協会会員
- 小林 一男 … 声楽家・国立音楽大学客員教授・日本イタリア協会評議員
- 澤脇 達晴 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
- 塩田 美奈子 … 声楽家・洗足学園音楽大学教授・日本イタリア協会評議員
- 下田 幸二 … ピアニスト・相愛大学音楽学部特任助教授・フェリス学院大学・桐朋学園大学講師
- 竹中 ともみ … 室内楽奏者 (Pf.)・スポーツ演技音楽コーディネーター
- 立花 三恵 … 声楽家・日本イタリア協会理事
- 多田 佳世子 … 声楽家・Ikuno-Musica教授
- 故田島 好一 … 声楽家・国立音楽大学名誉教授・日本イタリア協会評議員
- ダンテ・マッツォーラ … ミラノスカラ座研修所教授

- 植野 雅子 … 声楽家・日本イタリア協会評議員・浦安地区委員長
- 土佐 誠 … 声楽家・名古屋芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
- 戸引 小夜子 … ピアニスト・元国立音楽大学講師
- 豊田 裕子 … ピアニスト
- 直野 資 … 声楽家・東京芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
- 原 拓也 … 声楽 テノール
- 原口 摩純 … ピアニスト
- 林 廣子 … 声楽家・お茶の水大学教授・日本イタリア協会評議員
- 福崎 至佐子 … ヴァイオリニスト・高松大学教授
- マウロ・イウラート … ヴァイオリニスト
- 益田 みどり … ヴァイオリニスト・日本弦楽指導者協会 関東支部常任理事
- 松波 千津子 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
- 三井 文美 … 生光学園教諭
- 三好 荒山 … 尺八演奏家
- 村澤 由利子 … ピアニスト・鳴門教育大学教授
- 森川 京子 … ヴァイオリニスト・「信・弦楽四重奏団」「室内合奏団」主宰
- 横田 まきこ … ヴァイオリニスト



グラン・フィナーレ審査風景
 左：ミラノ・ヴェルディ国立音楽院総裁
 フランチェスコ・サヴェリオ・ボレリ氏
 右：ポーロニヤ国立音楽院元学長
 マエストロ カルミネ・カッリージ

■近年の代表的な催事

- 2025年 4月1日～7日 イタリア世界遺産音楽芸術国際フェスティバル
- 2024年 10月 5日 京都 鷺峰山 高台寺 ねね様四百年遠忌法要 奉納演奏
- 2024年 8月 26日 オールスター・ガラコンサート・JAPAN
- 2023年 8月 20日 京都 鷺峰山 高台寺オールスターJAPANガラ
- 2023年 8月 19日 京都 鷺峰山 高台寺Concerto con Gran Passione
- 2023年 4月 3日 オールスターJapan・ガラコンサートTOKYO
- 2019年 11月 10日 京都 鷺峰山 高台寺 特別演奏会2019
- 2019年 10月 25日～12月 15日 大イタリア展
- 2019年 5月 5日 紀尾井ホール ガラコンサート
- 2018年 10月 28日 コンコロソ受賞者リサイタル応援 (大阪)
- 2018年 10月 14日 京都 鷺峰山 高台寺 特別演奏会2018
- 2018年 9月 18日 出雲大社 日伊国際親善 特別記念演奏会
- 2018年 9月 17日 出雲市庁 日伊国際親善 特別演奏会
- 2018年 8月 28日 六本木ヒルズクラブ・特別演奏会

イタリア世界遺産・世界最古の屋内劇場
 テアトロ・オリンピコ 演奏風景
 イタリア国営放送 RAI も取材。

ギターソロ
マンダリン
ピアノデュオ
チェロ

▲京都鷺峰山 高台寺 演奏会
▲島根県 出雲大社 演奏会

Italia Concorso MusicArte



世界遺産 ヴィチエンツァ テアトロ・オリンピコ、国際フェスティバル 日本代表



文部科学大臣(当時)とイタリア臨時大使(イタリア公使)、ヴェネト州国立音楽院総裁(カステルフランコベネト国立音楽院学長)、ポローニャ国立音楽院前学長、ほか



ヴィチエンツァ国立音楽院体験留学



イタリア国立音楽院学長によるマスタークラス



ゴールデンガールコンサート 東京紀尾井ホール

■ 表彰・恩典

全参加者は ※日本イタリア協会会員として登録され、その恩恵をうける。

■ ステッラ部門 ■

グラン・プレミオ・スペチャーレ大賞【特別優秀大賞】	—Gran Premio Speciale—	グラン・プレミオ大賞受賞者の中から特に素晴らしい演奏が認められた者
グラン・プレミオ大賞【最優秀大賞】	—Gran Premio—	最優秀演奏者と認められた者
プレミオ・オーロ【金賞】	—Premio Oro—	優秀演奏者と認められた者

グラン・プレミオ大賞受賞を連覇し、特別に優秀と認められた者へ荣誉ある賞

◆イタリア世界遺産国際フェスティバル於表彰◆
マニフィカ大賞・「壮麗なる賞」 —Gran Premio Magnifico— 【イタリア褒賞ノ之イタリア特別演奏旅行に際するイタリア復航航空券贈与他】

グラン・プレミオ・スペチャーレ大賞【特別優秀大賞】の連覇を果たした受賞者の中から特に優秀と認められた者

◆イタリア世界遺産演奏旅行特別贈与◆
グランマエストロ Nakagawa 記念・「大褒賞」 —Gran Premio M^o.NAKAGAWA—

最高位クラスの連続受賞、技術、芸術力、幅広い角度からの総合評価による最高位の特別褒賞。日本のクラシック音楽の基礎創りと振興に貢献した、グラン マエストロ ナカガワの名の元に授けられる賞

■ クルトウーラ部門 ■

■ 金メダル	—Medaglia d'oro—	最優秀演奏者
◆ 銀メダル	—Medaglia d'argento—	優秀演奏者
■ 銅メダル	—Medaglia di bronzo—	優良演奏者



姉妹都市50周年日伊親善協力
 フィレンツェ・
 新国立オペラハウス

左: 日本イタリア協会
 M^o.マエストロ・ルチアーノ・アルベルティ
 中: 日本イタリア協会 中川くにこ
 右: 京都市長 門川大作 (敬称略)

左から Nicola Martinucci, Katia Lolova, Francesco Borrelli (Milano国立音楽院元総裁・大統領顧問), Cristina Muti (指揮者リッカルドムーティー夫人), Cunico Nakagawa (日本イタリア協会理事長), Daniela Javarone, Maurizio Barbacini (指揮者), Edda Ponti (ヴェルディ国立音楽院教授), Paolo Barbacini

MusicArte 国際フェスティバルを支援しているマエストロたち ▲

出雲大社 「日伊交歓フェスティバル」
 駐日イタリア領事 (当時)



Milano ケザーニ宮殿

金メダル受賞を連覇し、特別に優秀と認められた者へ荣誉ある賞

ダイヤモンド賞【ダイヤモンド】 —Gran Premio Diamante— イタリア国立音楽院等・国内外のマスタークラススカラシップ贈与

イタリア世界遺産国際フェスティバル開催

VICENZA<ヴィチエンツァ>国立音楽院一流アーティスト・教授によるレッスン
 ▼世界的なヴァイオリニスト エンリコ・バルボニ教授(左)・カッリージ学長(右)



音楽芸術国際フェスティバル「テアトロ・オリンピコ」公式演奏会



Mo.Makizo NAKAGAWA 記念



中川 牧三
Mo.Makizo NAKAGAWA
1902.12.7 ~ 2008.3.18

Mo.中川牧三 略歴

1902年 京都市中京区に生まれる。

1910年よりヴァイオリンを学び、

1920年より声楽をモンテ・カルロ王立劇場で活躍したソプラノ、オルガ・カラスロワ氏に、和声を菅原明朗氏に、指揮を近衛秀麿氏に師事。

1930年(昭和5年)、恩師、近衛秀麿氏(筆頭華族・貴族院終身議員、当時の内閣総理大臣近衛文麿氏の実弟、新響[現在のN響]の創始者)に後見人として伴われドイツ、イタリア、アメリカへと留学。ベルリン国立音楽院に留学。指揮法をオット・クレンペラー、作曲をヒンデミット、ヴァイオリンをカール・フレッシュに師事、声楽をワイゼンボーンに師事。

後にミラノに移り、国立音楽院と国立スカラ座歌手養成所へいずれも初めての日本人学生として入学。発声をアルフレッド・チェッキに師事。1932年(昭和7年)ピアチェンツァ王立歌劇場に初めての日本人歌手としてデビュー。トスカニーニ夫妻はじめ、ラベル、マスカニー、ジョルダナーノとの華やかな交流は、当時の社交界の注目と関心を集めた。

音楽学とスバルティエトを師事したマルティニ教授とともに渡米、州立南カリフォルニア大学へ入学。音楽学とオペラ史を本格的に研究。ハリウッド映画の名門「MGM」会長夫妻の抜擢を受け、当時超一流シアターと云われたハリウッド随一のチャイニーズ・グロマン劇場にて、初めての日本人としてリサイタルを開催。演奏活動の最中、1935年(昭和10年)、戦雲急を告げ、やむなく急遽帰国。帰国後、学校教育や音楽活動と相まって、国民運動として全日本合唱連盟や全日本吹奏楽連盟など数々の音楽活動団体を創設、音楽普及運動に傾注。当時京都で隆盛を極めた日本映画界、教育界の枢軸的な指導者として活躍。

第二次世界大戦勃発後、「日独伊三国同盟」に於いて唯一人の陸軍総代表として上海で日独伊国際外交を担当。中支派遣軍総司令部参謀部付幕僚として上海陸軍報道部も兼務。スポークスマンを努めるかたわら文化担当将校も兼務。当時最高水準の西欧人ソリストらによって編成された「上海市交響楽団」や「ロシアンバレエ」を自ら指揮し、総監督も兼務。音楽家として、総プロデューサーとして、文化担当将校として、あらゆる面から文化活動を支援した。近衛秀麿、山田耕柞、朝比奈隆、服部良一、李香蘭、白井鉄造、小牧正英はじめ、八十数名の音楽家や文学者、舞踊家などを次々と上海へ招聘。「東洋のパリ」「東洋の魔都」と称された上海で文化運動を推進。戦後の日本文化にも大きな影響を与えた。迫害を受けた多くのユダヤ人を人道保護し、騎士道を貫いた数々の功績や、戦渦の元、上海で繰り広げた国境を越えた平和的活動が後の国際裁判軍事法廷にて現地の西欧人らの証言によって次々と明らかにされ、話題となった。

戦戦後まもなく、進駐軍と毎日新聞社の支援のもと、関西における最初の本格的なイタリアオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を東フィルを招聘して上演。「パリアッチ」「リゴレット」「椿姫」「蝶々夫人」「オルフェオ(本邦初演)」「ルチア(本邦初演)」「アミーコ・フリッツ(本邦初演)」他、演出、指揮、翻訳、全てを自ら手がけて指揮指導し、京都、大阪、奈良、滋賀をはじめ近畿各地にて次々と上演。現在の関西のオペラの基礎を築いた。音楽教育と普及運動に傾注する傍ら、京都芸術大学、大阪音楽大学、大阪芸術大学、名古屋芸術大学、京都外国語大学…をはじめ、各地の大学やオーケストラ、音楽団体の創設に中心的存在として関わった。

日本とイタリアの文化交流の先駆者として、イタリアオペラに功労を遂げた第一人者として、イタリア政府から「カヴァリエレ・ウフィチャーレ勲章」を叙勲。

1959年G・ヴェルディ生誕の地、イタリア・ブッセート市主催「ヴェルディ国際音楽コンクール」へ初の邦人審査員として招かれ運営委員及び審査員を24年間務めわが国の声楽家をイタリアへ導く基礎を築いた。併せてブッチーニコン、マリア・カナルスコン、ヴェローナコン、ジリーコン、マリオ・デル・モナココン、トゥーティ・ダルモンテコン、トレヴィアーゾコン、ローザ・ボンセルコン、コセンツァコン、セニガリアコン、ストウレーザコン、ベッリーニコンほか、数々の国際コンクールへいずれも最初の日本人審査員として多年に亘って招かれ実行委員並びに審査員を2007年春(104歳)まで、生涯現役で務めた。

国内では「日本音楽コンクール」(毎日新聞社・NHK主催)全部門の運営委員及び審査員を38年間努め、「全日本学生音楽コンクール」(毎日新聞社主催)を創始、毎日新聞社の文化活動に数多く携わり援助した。

本年第40回を迎える「イタリア音楽コンクール」(日本イタリア協会・毎日新聞社主催)を1969年より創始主宰、審査委員長。コンコルソ出身者のみならず数多くの志望者の後見人となり、イタリアの主要国立音楽院やスカラ座歌手養成所等の国立機関へ半世紀に亘って導いた。

イタリアをはじめ欧米各国より、黄金時代の巨匠といわれた演奏家や教育者、学者らを、戦後まもなくいち早くから次々と招聘。数多くの講習会や演奏会を内外で開催。

105年に亘る生涯を音楽にかけたわが国の音楽界の巨匠・マエストロ・ナカガワの活動は「日本イタリア協会」に引き継がれている。

トゥーティ・ダルモンテ、ベンジミニャーノ・ジューリ、ジューノ・ペーキ、ジョルジョ・ファバレット、レナータ・テバルディ、ジュリエッタ・シミアナート、ジョゼッペ・タッディ…をはじめ、多くの黄金時代の名巨匠らとの戦前からの深い親交は周知の通りで、殊に、世紀のテノールと呼ばれたマリオ・デル・モナコや名門ヴェルディコンクールを創始した名テノール・アレッシンドロ・ジリアーニとは、1930年代イタリア留学時代からの同門の無二の親友であった。

2000年 「マルタ騎士勲章」授受

2001年 「マルタ・大騎士大使勲章」(グラン・アンバシャトーレ勲章)授受

2004年 2月と4月、101歳世界最高齢の現役指揮者としてオーケストラを指揮。

2004年 国際ソロブチミスト日本財団「千嘉代子賞」授受

2005年 京都府文化賞「特別文化功労賞」授受

2005年 文化庁長官表彰 授受

2005年 イタリア政府より最高位勲章『連帯の星』

「グランデ・ウフィチャーレ勲章」授受

2008年 逝去後、天皇陛下の御裁下並びに閣議決定により

「旭日小綬章」追贈授受

ヴィヴァルディ国際学会名誉会員、テバルディ財団最高顧問並びに特別名誉委員、日本イタリア協会 創始者 初代会長、松下電器産業株式会社(現パナソニック) 顧問

実父は京都市葛野郡会議長を明治、大正に亘って努めた故中川源太郎。

実兄は京都府会議長、衆議院議員、日本遺族会創始者・初代会長の故中川源一郎。

主催 一般社団法人 日本イタリア協会 イタリアコンコルソMusicArte<ムジカアルテ>

所在地 〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51

連絡先 TEL 075-466-5505 FAX075-466-5510

ウェブ <http://nipponitalia.com/> メール info@nipponitalia.com

Italia Concorso MusicArte

第20回 イタリアコンクール MusicArte<ムジカアルテ>

本選 Gran Finale フローチャート

Stella (スター)

Cultura (教養)

両部門併願可

予選合格

本選 <表彰>

|グラン フィナーレ|

審査方法はA・Bより選択

A) 会場審査 各会場にて実技審査

B) 動画 + オンライン審査

3か月以内収録動画+オンラインライブ審査
日時は個別決定

※曲目自由(予選と同曲可)

特別表彰
グラン・プレミオ
受賞者による
オールスターガラ
華麗なる競演
<決戦>

2026年9月21日(月)

J:COM浦安音楽ホール
<ハーモニーホール>

A) 本選会場審査日程

関東	2026年 1月18日(日) J:COM浦安音楽ホール<ハーモニーホール>
関西	2026年 1月24日(土) NHK大阪歴史博物館【講堂】
名古屋	2026年 1月12日(月) メニコンHITOMIホール
徳島	2026年 2月 8日(日) 北島町立図書館・創世ホール



東京芸術劇場
(過去授賞式)



左:テアトロオリンピコ館長
右:トップニュースキャスター
(同会)



テアトロオリンピコ<Vicenza>



ヴェッキオ宮殿<Firenze>



Vicenza国立音楽院



テアトロオリンピコ<Vicenza>



Firenze国立音楽院



Venezia国立音楽院

主催 (社)日本イタリア協会

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE

CONCORSO
IN MEMORIA
DEL
GRAN MAESTRO
NAKAGAWA



ルカ・ガリレオ・チュッフォレッティ・デシデリオ
Luca Galileo Ciuffoletti Desiderio
 日本イタリア協会特別顧問・芸術総監督
 イタリアコンコロソMusicArt 審査委員長
 バイオリニスト・作曲家



中川 くにご
M².Cunico NAKAGAWA
 日本イタリア協会理事長
 イタリアコンコロソMusicArt
 総務委員長
 ソプラノ歌手

Message

Dear Artists,

I congratulate with all of you for having reached the prestigious day of the edition of Italia Concorso MusicArte 2024.

This year too the level was extraordinarily high and we have witnessed some truly remarkable performances. The ssociazione Italo Giapponese, under the passionate direction of the internationally acclaimed artist Cunico Nakagawa, is offering to all of you a truly unique opportunity to grow as artist and test your abilities and talents. Italy too is following closely these events and, as artist myself, from Italy, I would like to wish you the very best for your career and life. Do continue discovering the beauty of music and art, always with an open mind and searching for new ways to be inspired. We are looking forward to seeing you performing, in the near future, in Italy.

Luca Galileo Ciuffoletti Desiderio

アーティストの皆様へ、

イタリアコンコロソムジカルアテ2024の栄えある日を迎えられましたことを、皆さんとともにお祝い申し上げます。今年度も非常にレベルが高く、本当に素晴らしい演奏を目の当たりにすることができました。日本イタリア協会は、国際的に高い評価を得ているアーティスト、中川くにご氏の情熱的な指揮のもと、自分の能力と才能を試しながらアーティストとして成長できるまたとない機会を皆さんに提供しています。イタリアもこのイベントを注視しており、イタリア出身のアーティストとして、皆さんのキャリアと人生に幸多かれと祈りたいと思います。音楽と芸術の美しさを発見し続け、常にオープンマインドで、インスピレーションを得るための新しい方法を探求し続けてください。近い将来、あなたがイタリアで演奏するのを見るのを楽しみにしています。

「才能を育て導くコンクール」としてより多くの音楽家を支援すべく生まれた「コンコロソMusic Arte」。

五線譜やオペラ、ピアノ、弦楽器など西洋音楽の礎(いしずえ)とルネッサンスの国イタリアならではの「軽やかさ」と「響き」の美しさをこのコンコロソを通じて発見していただきたいと存じます。音楽は自由・創造性、謙虚・人間愛などの内面がそのまま表れます。心に響く演奏力が輝きますように。

コンコロソの審査は、世界的活躍トップアーティスト・国立音楽院総裁・学長らによって国際水準で執り行われ、単に「日本一」を選ぶというよりも、エレメントをのびのびと発揮していただき、優美な雰囲気の中で才能の宝を見つけ出し大切に育てるコンコロソでありたいと希っています。そして世界的なマエストロ方と直接ふれあうこともできる、従来のコンクールとはひと味違ったコンコロソを目指しています。入選者や受賞者には、国内外の国立機関、各市・県主催による宮殿・寺社仏閣・博物館や美術館での特別演奏をはじめ、イタリアでは世界遺産テアトロオリンピコで開催される国際フェスティバルに日本代表として出場、国立音楽院主催演奏会・国立音楽院体験留学など、歴史と芸術的蘊蓄が込められた大舞台でさまざまなチャンスが与えられます。

この度「文化庁」が京都へ移転されました。本協会は半世紀以上に亘り、数百名の若者たちを、世界の中でも最高位の歴史伝統を誇る、ミラノ・シエナ・ヴェネツィア・ボローニャ・パルマなどイタリア国立音楽院へ特別推薦入学《授業料免除》を行い支援し導いてまいりました。イタリア国立音楽院と直結したコンコロソは世界でも例はなく、日本を代表する多くの音楽家を育成輩出してまいりました。そのポリシーは花や実をつけるように弟子・孫弟子・曾孫弟子達へとひき継がれています。

2015年は半世紀前にマエストロナカガワが推進した「フィレンツェ京都姉妹都市締結50周年」にあたる年で、同時期に日本で初めての市立オーケストラとして創始した「京都市交響楽団」が渡伊し、6月初旬フィレンツェ新歌劇場にて「フィレンツェ京都・姉妹都市記念公演」を開催し交流を深めました。1930年代、マイクも発達していなかったクラシック音楽黄金時代に、近衛秀麿氏(日本のオーケストラの祖、指揮者、新響、NHK交響楽団創設者)に伴われ、ドイツ、イタリア、アメリカへと長年留学し、カールフレッシュやフルートベングラー、ヒンデミット、マスカーニ、など世界最高峰・芸術の神と云われた歴史上の巨匠達からバイオリン、指揮、声楽・オペラ・音楽学などを学び直伝を授かった幸運と、古い友情を何よりも大切にしたいマエストロ・中川の特性と人格が生かされた交流が今日に引き継がれています。国際人として貫いた人間愛、音楽への純真誠心、明治生まれの京都人の質実剛健と真摯な心を改めて深く思い、本協会は今後とも努力邁進を重ねてまいりたいと存じます。

基本を極め、技巧を磨き、輝く響きと鮮明なライン、深い思いやりと人間力、国際力を高めて心をつつ、人を感動させる、優しい感性が香を放つ、そんな表現のできる芸術家を目指していただきたいと希っています。



すみだトリフォニーホール



2013年7月 イタリア世界文化遺産

国際フェスティバル芸術祭



ルチアーノ・アルベルティ
M^o. Luciano ALBERTI

日本イタリア協会
特別顧問・運営委員
元シエナ・キジアーナ国立音楽院学長
演出家・音楽学者

日伊文化交流の一環として、日本イタリア協会理事長の中川くにご先生が毎年各市と共催し、開催されている若手演奏者によるコンサートが、フィレンツェでも行われました。非常にレベルの高い素晴らしい音楽が、フィレンツェの中心に位置するヴェッキオ宮殿の500人広間に鳴り響き、才能あふれる若き演奏者は拍手喝采を浴びることになりました。あの場でご挨拶をさせて頂いた私は、日本とイタリアの音楽の架け橋となった、マエストロ中川牧三と友達だったことを、ちょっぴり自慢気にお話して、さらに彼との思い出について言及した際には、とても感慨深いものがありました。私達の交友がどれほど長きに渡ったことでしょうか。始まりは半世紀以上前の戦後間もなくからで、マエストロがたくさん若い日本人歌手をイタリアへ連れていらっしやっただ事でした。私が20年以上学長を務めたシエナのキジアーナ音楽院で、ジーノ・ベーキ、ジョルジョ・ファバレット、エットレ・カンボガリアーニ、カルロ・ベルゴンツィといった有名講師達の講座を受けさせるのが目的でした。その長きに渡る生涯のなかでマエストロ中川牧三は、こうした講師達とご自身がテノールの道を歩み始めた若かりし頃、よくご存知だったベルカントの伝説的存在、ベニアミーノ・ジーリヤティート・スキーパー、アウレリアーノ・ペルティレたち世代の橋渡し役となりバトンを渡されました。またイタリア声楽とオペラをこよなく愛していらっしやっただマエストロは、マリオ・デル・モナコやレナータ・テバルディ、そしてマグダ・オリヴェーロのような永遠の歴史的スターとも懇意にされていました。

現在、そのリレーのバトンはそれらの歴史的巨匠の元で研鑽された既存のキャリアをもつ中川くにごに託されております。

ルチアーノ・アルベルティ



カルミネ・カッリージ
M^o. Carmine Carrisi

日本イタリア協会
特別顧問・運営委員
元ボローニャ国立音楽院学長
ピアニスト・指揮者

マエストロ中川牧三氏が初代会長を輝かしく務められた日本イタリア協会と初めてご協力させていただいてから、30数年もの時が経ちました。その間私は、「G・バッティスタ・マルティーニ」ボローニャ国立音楽院の学長として、いつも有意義で実りある仕事に携わらせていただき、奥行きのある重要な音楽プロジェクトでご一緒できました。こうしたことは、マエストロ・中川氏の努力、情熱、意志とプロ精神、そして後に総務委員長を務められた中川くにご先生の積極的な活躍の賜でございます。おかげさまで、日本イタリア協会とイタリアの公私それぞれの機関との文化交流は、ますます活発に発展してまいりました。とりわけミラノ、ヴェネツィア、ローマ、ジェノヴァ、ヴィチエンツァ、ヴェローナ、シエナ、ボローニャ、フィレンツェといったイタリア諸都市の国立音楽院との関わりには、眼を見張るものがあります。マエストロ中川氏とくにご総務委員長は、バイタリティーに溢れた魅力ある企画をいくつも進められ、若い世代の才能豊かな音楽家や若いホープを筆頭に、多くの聴衆の関心を集められました。声楽やムジカアルテのマスタークラスやコンコルソ、そしてヴィチエンツァのテアトロ・オリムピコで行われる演奏会は、イタリアの音楽界と国立音楽院にとって、大事な恒例行事としてますます重要度を増しております。有名な指揮者、教授、作曲家、声楽家や演奏者が毎年数多く参加し、音楽文化の発展に具体的に寄与しております。

日本イタリア協会への具体的かつ理解を持った支援が、今後ますます大きなものとなりますことを願っております。とりわけ、発起人の中川くにご理事長をはじめとして、この歴史ある優れた協会の発展のために献身的に尽力されている皆さまが、奨励されて、支援を受けられることを大いに期待しております。

カルミネ・カッリージ



アルベルト・クピード
M^o. Alberto CUPIDO

テノール歌手
日本イタリア協会特別顧問・運営委員
■イタリアコンコルソMusic Arte審査運営委員
■イタリア声楽コンコルソ(日本イタリア協会/毎日新聞社共催)審査運営委員

マエストロ中川くにごが、創始された「コンコルソMusicArte<ムジカアルテ>」の予選～セミファイナレを見事にパスした演奏家の中から「受賞者」と「日本代表」を選ぶという、名誉かつ責任ある役目をいただくにあたり、公正・公平を期すことを誓います。より優れた表現力、技術力、そして素質を発揮する参加者を見極めるためにも、長年にわたって私たちが世界各地の劇場で培ってきた経験、そして講師として積んできた経験の両方を十分に生かしてまいり所存です。

さて、参加者の皆さまには、心よりエールを送ります。これは私見ではありますが、自己批評をしながら一所懸命に目標を目指していれば、決して優勝者だけではなく、どの参加者にとっても実りある明るい音楽の将来が待っているはずで。

こうして皆さまへのご挨拶を綴っておりますと、2011年以降ほぼ毎年にイタリアのサンタ・マルゲリータ・リグレヤラパッコなどで行われている(このコンコルソから飛びたった)日本人による素晴らしい演奏会、あの大成功が思い出されます。幸運にもあの場に居合わせた聴衆の記憶には今もなお興奮とともにとどまっていることでしょう。

改めて皆さまのご健闘を祈念いたします。

アルベルト・クピード
黒田安紀子・クピード

黒田安紀子・クピード
M^o. Akiko KURODA CUPIDO

ソプラノ歌手
日本イタリア協会特別顧問・運営委員
■イタリアコンコルソMusic Arte審査運営委員
■イタリア声楽コンコルソ(日本イタリア協会/毎日新聞社共催)審査運営委員



イタリア世界文化遺産・重要建築（宮殿・遺跡）舞台上で開催される国際フェスティバルは、世界遺産「テアトロ・オリンピコ」、ヴェッキオ宮殿「五百人広間」はじめ、イタリア全五ヶ所の会場すべてが満場となった観客の前で日本代表が堂々と演奏し、何ものにも代え難い貴重な経験と誉れに…。



イタリアオペラの最重鎮
マエストラ マグダ・オリヴェーロと共に…



ボローニャ国立音楽院元学長
日本イタリア協会 特別顧問・運営委員



市庁舎迎賓館・市長主催歓迎式典



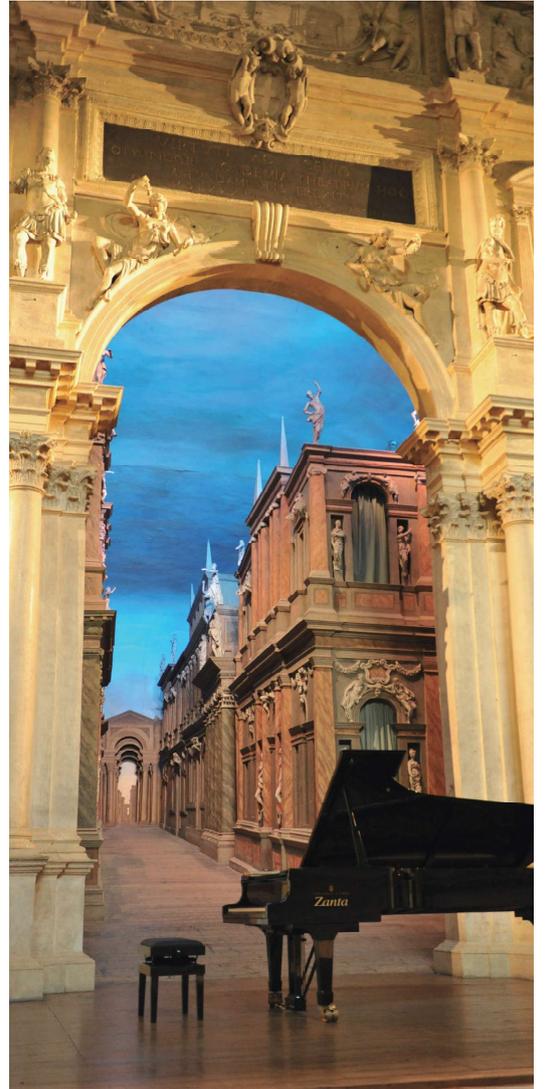
テアトロ・オリンピコ館長とトップキャスター



▲現フィレンツェ市庁舎であり、あまりに有名なイタリア屈指の世界文化遺産のひとつであるヴェッキオ宮でも開催毎回、市をあげてご支援頂く一大フェスティバルとなっている。



▲ヴェッキオ宮殿内の「五百人広間」。天井やその周囲の壁面にいたるまで絵画で埋め尽くされ、圧倒的な存在感と悠久の時間を感じさせてくれる芸術空間。



▲この奇跡の舞台に立っているのは、現地イタリア人の一流音楽家でさえ難しい、日本イタリア協会創始者マエストロ・中川牧三が戦前から築いてきた深い人脈と信頼により、日本の若き音楽家を最高峰の舞台へと導く。



▲夢の舞台で経験を笑顔で称え合う若き受賞者たち。国際フェスティバル開催時に展示するため日本の重要文化財・京都 高台寺からご提供いただいた豊臣秀吉の正室「ねね様」のご衣裳とともに。



▲挨拶はマエストロ中川牧三と古くからの親しい友人であるルチアーノ・アルベルティ氏（元シエナ国立音楽院学長・演出家・元ドニゼッティ国立歌劇場・ブッチェーニ国立歌劇場総監督）



毎年イタリアでの注目が非常に高く新聞の一面を飾る。2012年の記事ではイタリアオペラ界の最重鎮であるマエストロ マグダ・オリヴェーロのお姿も。著名音楽家だけでなく前駐日イタリア大使閣下やミラノ侯爵、NATO 最高位将軍閣下など通常では考えられないVIPに多数ご来賓頂き、華々しく開催され、大成功裏に閉幕となった。

イタリアを代表する世界文化遺産・重要文化財の国際舞台において日本全国から選出された才能溢れる若き音楽家達がレベルの高い演奏を大舞台において堂々と披露。音楽に造詣深いイタリア人の心に深く響いた名演奏は、日本とイタリアの文化の絆がしっかりと結ばれた感動的な瞬間となります。

2014年開催のイタリア名門5箇所で行われた国際フェスティバル芸術祭は、イタリア外務省 EU Direttore Generale 閣下（前駐日イタリア大使）、国立音楽院学長、Milano ヨーロッパ NATO 最高位将軍閣下、ミラノ公爵、ミラノスカラ座関係者、在ミラノ日本領事など、各所大勢のVIPに見守られる中、連日満員のお客様に温かく包まれて喝采をうけました。

イタリア国際フェスティバル「イタリア世界遺産芸術祭」は、日本とイタリアの親交が深まった重要な機会であり、日本人の芸術文化力でイタリア人を感動させ、親近感と同時に文化力レベルの高さを直接伝えることができる素晴らしい国際外交であることを確信いたします。

世界史に残る大舞台における貴重な体験の場を今後も継続して提供し、わが国の情操豊かな国際力を併せもつ優秀な人材を育むためにも、慎ましく努力する日本の美德を誇りながら、芸術の宝庫イタリアと日本を結ぶ文化の懸け橋となって、更なる国際交流を繋げて参りたいと存じます。

経験し、体感し、学び、楽しみ… 日本国内でも音楽家としての成長を支援

京都の「高台寺」や島根県の「出雲大社」での演奏会、東京の「紀尾井ホール」や「六本木ヒルズクラブ」でのゴールデン・ガーラ・コンサートをはじめ受賞者・優秀者にはイタリアへの留学や世界遺産での演奏活動だけでなく日本国内でも様々な演奏機会が与えられます。経験を積むことで世界的な飛躍を遂げています。「イタリアコンコルソMusicArte」から新たにそのチャンスを手に入れる音楽家がたくさん生まれる事を希ってやみません。



京都 鷺峰山 高台寺 本堂 「方丈」



京都 鷺峰山 高台寺 「利生堂」



イタリアの誇る世界遺産 Teatro Olimpico (テアトロ・オリンピコ)
世界一美しい…と呼び声高い彫刻に包まれた世界最古の屋内劇場で日本代表が演奏する様子は、
トップキャスターの司会進行のもと華やかに催される。